

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 494 号	氏名	法村 大輔
学位審査委員	主査	大園 恵幸	
	副査	永安 武	
	副査	酒井 英樹	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、発癌リスクが高い特殊腸上皮化生 (Specialized intestinal metaplasia:SIM) を有するバレット食道に対し非侵襲的な Narrow band imaging (NBI) 併用拡大内視鏡診断法の有用性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 NBI 併用拡大内視鏡によるバレット食道の表面微細構造の観察により Intestinal Metaplasia pit pattern(IM pit)群と Non IM pit 群に分類し病理学的に SIM の有無を検討し、更に Light Blue Crests(LBC)の本態の検証と SIM との関連の有無について統計学的解析を行って解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、NBI 拡大内視鏡は、IM pit pattern 分類及び LBC を検討することにより SIM を有するバレット食道に対し非侵襲的で診断精度の高い内視鏡診断法として有用であることを明らかにし、今後のバレット食道研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は消化器内科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			